

ごんぎつね ② 一の場面の1

一、ごんの様子がわかる文に線を引き、その中から三つ選びましょう。

ごんの様子 予想される子どもの考え	深めるための発問
ひとりぼっちの小ぎつね	<p>「ひとりぼっちってどんなイメージ」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ごんはひとり<span style="border: 1px solid red;">で</span>住んでいました。</li><li>・ごんはひとり<span style="border: 1px solid red;">ぼ</span>ち<span style="border: 1px solid red;">ち</span>で住んでいました。</li></ul> <p>二文をくらべてみましょう。どのようにちがうでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>子ぎつねとのちがい</p><ul style="list-style-type: none"><li>・子どもから出なければ、触れなくてもよい。</li></ul></div>
しだのいっばいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。	<p>「しだはどんな場所に生える植物か知っていますか。」</p> <p>「あなの中はどんな様子ですか。」</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p>どちらも暗い・じめじめしたイメージ</p>
いたずらばかりしました。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>・いたずら<span style="border: 1px solid red;">を</span>しました。</li><li>・いたずら<span style="border: 1px solid red;">ば</span>り<span style="border: 1px solid red;">し</span>ました。</li></ul><p>二文をくらべてみましょう。どのようにちがうでしょう。</p></div>

二、ごんはとどんな小ぎつねか一言で表し、わけも書きましょう。

ごんぎつね ③ 一の場面の2

一、ごんの気持ちがわかる言葉や文に線を引きました。その中から三つ選んで書き出し、分かったことや思ったことを書きましょう。

ごんの気持ちの表れた言葉や文	分かったこと、思ったこと
①ごんは、外へも出られなくて、あなたの中にしゃがんでいました。	<p>深める発問</p> <p>※ 上の② <u>ほっとして</u> を中心に前後にイメージを深める</p> <p>① 前にイメージを広げる発問</p> <p>・「ごんは、どうしてほっとしたのですか」</p> <p>二、三日降り続いた雨があがったから。</p> <p>※ 「雨の間、ごんはどうしていたのですか」</p>
②ごんは、ほっとしてあなたからはい出ました。	<p>次の二つの言い方を比較する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外へ出られなくて</li> <li>・外へさえもでられなくて</li> </ul> <p>国語辞典 参考)</p> <p>も……ない 打ち消し)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・否定の意味を強める。さえも……ない</li> <li>・多く、容易なことさえできない。</li> </ul>

二、この場面のごんの気持ちを一言で表し、その

(はじめ)

(中)

※ 「雨でない時は、ごんはどんなことをしているのですか。」

村に行っていたはずらをする。前時の復習でもある。

② 後ろにイメージを広げる発問

- ・「雨が上がって、外はどんな様子でしたか」
- ・「外に出て、ごんはどんなものを見ましたか」

(情景のイメージ化)

(終わり)

一、ごんの気持ちが変わる言葉や文に線を引きましょう。  
その中から三つ選んで書き出し、分かったことや思ったことを書きましょう。

ごんの気持ちの表れた言葉や文	分かったこと、思ったこと
<p>ごんは、見つからないように、 と草のふかい所へ歩きよつて、 らじつとのぞいてみました。</p> <p>そうっ そこか</p>	<p>深める発問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんの気持ちを考えた後、 「ごんは、何を見たのですか」と発問し、 の兵十の様子やしたことをイメージ化する。 次</li> </ul>
<p>ちよいと、いたずらがしたくなったの です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうしていたずらをしたくなったのでしょ う」 前時の雨降りの場面と関連づける</li> <li>・「ちよいとから、ごんのどんな気持ちが分か るでしょう」 ごんにとつては、軽い気持ちのいたずら</li> </ul>
<p>ごんは、びつくりして飛び上がりまし た。</p>	

二、この場面のごんの気持ちを一言で表し、そのわけも書きましょう。

(はじめ)

(中)



(終わり)

ごんぎつね ⑤ 二の場面

一、ごんの気持ちを書かれた言葉や文に線を引きましょう。その中から三つ選んで書き出し、分かったことや思ったことを書きましょう。

ごんの気持ちの表れた言葉や文	「ああそう式だ。」
「ははん、死んだのは、兵十のおっかあだ。」	イメージを広げる
「ちよつ、あんないたずらしなけりやよかつた。」	分かったこと、思ったこと
課題二につなげる。	<p>「ごんは、どうして（何を見て）葬式だと思ったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大ぜいの人が集まって</li><li>・よそ行きの着物：など</li></ul> <p>※「ごんの家は、どんな様子ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・赤いど</li><li>・小さな こわれかけた家</li></ul> <p><b>兵十の家のイメージ↓くらしのイメージ</b></p> <p>一の場面にも『ぼろぼろの黒い着物』</p>
「ごんは、どうして兵十のおっかあだと思ったのですか。 <p>兵十の様子のイメージ</p>	

二、こんなごんを見てどう思いますか。一言で表し、そのわけも書きましょう。

「ごんぎつね」 ⑥ 三の場面の1

一、ごんの気持ちがわかる言葉や文に線を引きましょう。  
 その中から三つ選んで書き出し、分かったことや思ったことを書きましょう。

<p>ごんの気持ちの表れた言葉や文</p>	<p>分かったこと、思ったこと</p>
<p>「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」</p>	<p>・おれと同じ：一の場面とのかかわり          ・ひとりぼっち：直前の文</p>
<p>兵十のうちのうら口から、うちの中へ          いわしを投げこんで、あなへ向かって          かけもどりました。</p>	<p>投げこんで          ・乱暴な食べ物扱い          ←          かけもどりました          ・見つければやばい</p>
<p>ごんは、うなぎのつぐないに、まず一          つ、いいことをしたと思いました。</p>	<p>まず一つ          ・二つめのつぐないをするつもりだ          いいことをした          ・盗んだものをあげても、喜んでもらえ          ないということが分かっていない。          ←          社会のルールが分かかっていない          ひとりぼっちでくらすってきたから</p>

二、この場面のごんの気持ちを一言で表し、そのわけも書きましょう。

ごんぎつね ⑦ 三の場面の2

一、ごんの気持ちがわかる言葉や文に線を引きましょう。  
 その中から三つ選んで書き出し、分かったことや思ったことを書きましょう。

<p>ごんの気持ちの表れた言葉や文</p>	<p>深めるための発問</p>
<p>ごんは山でくりをどっさり拾って、          どうしたんだらうと、ごんが思っ</p>	<p>しまった          〓国語辞典〓          ・そのつもりでないことがおこること          ・とりかえしのつかないことになること          ・下手なことをして悪い結果をまねくこと</p> <p>「ごんは、何を失敗したのでしょうか。」</p> <p>「あなたはとりかえしのつかない失敗をしたことがありますか？」          (必要かどうか?)</p>
<p>これはしまったと思いました。          「かわいそうに兵十は、いわし屋にぶ          んなぐられて、あんなきずまで付けら          れたのか。」</p>	<p>かわいそうに          ・今までのごんならかわいそうと          思いそうにない</p>
<p>次の日も、その次の日も、          その次の日には、くりばかりでなく</p>	<p>繰り返し〓強調表現          「ごんのどんな気持ちを強めているの          でしょうか。」</p>

二、この場面のごんの気持ちを一言で表し、そのわけも書きましょう。

ごんぎつね ⑧ 四の場面

一、「ごんは」という主語の文をぬきだして、その時のごんの気持ちを考えましょう。

5	4	3	2	1	
					「ごんは」という主語の文
					ごんの気持ち (おもなものを二つ三つ書いてください。)

二、この場面のごんの気持ちを一言で表し、そのわけも書きましょう。

理由

ごんぎつね ⑨ 五の場面

一、「ごんは」という主語の文をぬきだして、その時のごんの気持ちを考えましょう。

4	3	2	1	
				「ごんは」という主語の文
				ごんの気持ち

二、この場面のごんの気持ちを一言で表し、そのわけも書きましょう。


--

(はじめ)

(中)

(終わり)

一、兵十の気持ちがわかる言葉や文に線を引きましょう。その中から三つ選んで書き出し、分かったことや思ったことを書きましょう。

兵十の気持ちの表れた言葉や文			
分かったこと、思ったこと			

二、兵十のことばを聞いて、ごんは何を言いたかったのでしょうか。想像してみましょう。

ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは。



A large, empty, irregularly shaped area for writing, connected to the speech bubble above.